

議題 2 吹田市公共交通維持・改善計画実施事業及び公共交通利用者数の報告

吹田市公共交通維持・改善計画に基づき、令和5年度に実施した主要な事業及び市内の公共交通利用者について報告するものです。

○令和5年度に実施した主要な事業

【事業1：公共交通サービスの維持・向上】

- ・ノンステップバス車両導入
- ・鉄道駅舎のバリアフリー化の推進
- ・バス停環境の改善（バス停上屋、ベンチ設置）

【事業3：利用サービスの提案】

- ・高齢者自動車運転免許証の返納者向けサービス
- ・学生（小・中学生）に向けた運賃補助

【事業6：交通結節点の機能向上】

- ・シェアサイクルの拡充
- ・自転車駐車場の整備推進
- ・江坂駅エレベーター設置工事

上記実施事業の内容、成果については以下のとおりです。

【事業1：公共交通サービスの維持・向上】

* ノンステップバス車両導入

	阪急バス		近鉄バス		合計
	R5.1末	R6.1末	R5.1末	R6.1末	
路線数	9	9	1	1	10
台数（吹田市内を走るもののみ）	95	96	52	52	148
ノンステップバス	67 ⇒	73	51 ⇒	51	124
ワンステップバス	28	22	1	1	23
その他	0	1	0	0	1
ノンステップバス導入率（%）	70.5%	76.0%	98.1%		83.8%

市内ノンステップバス導入状況（令和6年1月）

* 鉄道駅舎のバリアフリー化の推進

JR 西日本：

令和 5 年度

- ・ JR 吹田駅の可動式ホーム柵設計に着手。令和 8 年度供用開始予定。
- ・ JR 岸辺駅のホーム安全スクリーンを設置予定。令和 6 年度供用開始予定。

大阪メトロ：

令和 5 年度

- ・ 江坂駅のサービス情報表示器設置。

* バス停環境の改善（バス停上屋、ベンチ設置）

・ バス停ベンチ設置補助

令和 4 年度（2022 年度）	令和 5 年度（2023 年度）
ベンチ設置数：4 か所	ベンチ設置数：4 か所
①高野台中学校（西行）	①JR 岸辺駅北口（③のりば）
②高野台中学校（東行）	②佐竹台 6 丁目（西行）
③佐竹台 5 丁目（東行）	③五月が丘（西行）
④佐竹台 6 丁目（東行）	④山田市民体育館前（東行）



①JR 岸辺駅北口③ ②佐竹台 6 丁目(西行) ③五月が丘(西行) ④山田市民体育館前(東行)

・ バス停上屋、ベンチ設置（大阪府の都市緑化を活用した猛暑対策事業を活用）

施工箇所は以下のとおりです。

- ①津雲台 7 丁目（西行）
- ②紫金山公園前（南行）
- ③吹田市 SST（西行）
- ④佐井寺南が丘（西行）

※令和 6 年 3 月末に完成予定です。

【事業3：利用サービスの提案】

* 高齢者自動車運転免許証の返納者向けサービス

吹田市在住の75歳以上の運転免許所持者で、令和4年4月1日以降に有効免許を自主返納（全部返納）した方の公共交通機関利用に係る費用を上限6,000円補助する事業。

令和4年度（2022年度）	令和5年度（2023年度）
申請数 304件	申請数（358件 R6.3末見込）

* 学生（小・中学生）に向けた運賃補助

利用促進施策として、将来需要の見込まれる市内在学の小・中学生にバスの無料乗車券を配布し、利用された分の運賃を補助する事業。路線バスを利用する環境の少ない小・中学生に「モビリティマネジメント」の一環として実施し、将来需要の拡大、利用促進を図る。

令和4年度（2022年度）7月21日～1月10日	令和5年度（2023年度）7月21日～1月8日
小学生（3,954枚使用、配布数：43,158枚）	小学生（5,500枚使用、配布数：43,260枚）
中学生（762枚使用、配布数：19,810枚）	中学生（1,384枚使用、配布数：18,496枚）
配布枚数に対する使用枚数の割合	配布枚数に対する使用枚数の割合
小学生：9.2%	小学生：12.7%
中学生：3.8%	中学生：7.5%
全体：7.5%	全体：11.1%

【事業6：交通結節点の機能向上】

* シェアサイクルの拡充

公共交通を補完する移動手段として、シェアサイクル事業の有効性や、既存路線バス、タクシー等の公共交通への影響及び役割分担、さらに自転車駐車場における利用状況の変化等を明らかにすることを目的として実証実験中。

実証実験の結果を踏まえ、より一層公共性のある移動手段として位置付ける。

令和5年度～令和6年度 実証実験実施。

令和7年度 本格運行を予定。

	令和4年7月時点	令和5年3月時点	令和6年3月時点
設置箇所数	48	60	68
ラック数	254	308	503



ステーションマップ (OpenStreet(株)HP から引用)

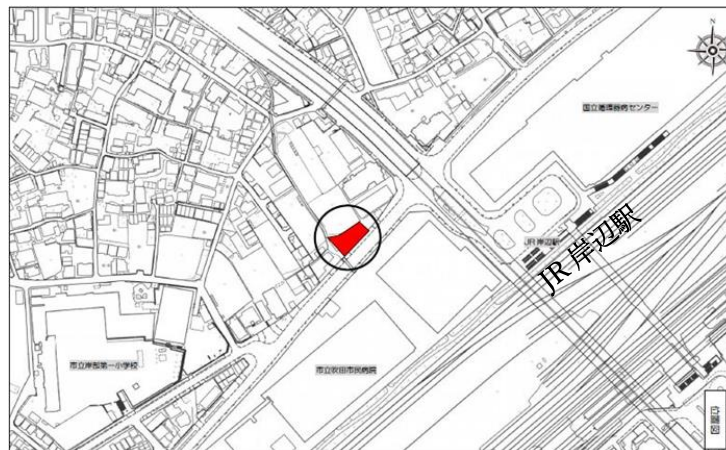
* 自転車駐車場の整備推進

主要鉄道駅等におけるアクセス環境の充実を図るために、自転車駐車場が不足している駅において自転車駐車場整備を推進する。

JR 岸辺駅周辺において、自転車駐車場を整備中。

令和 5 年度：自転車駐車場（250 台）を整備中。

令和 6 年度：自転車駐車場供用開始。



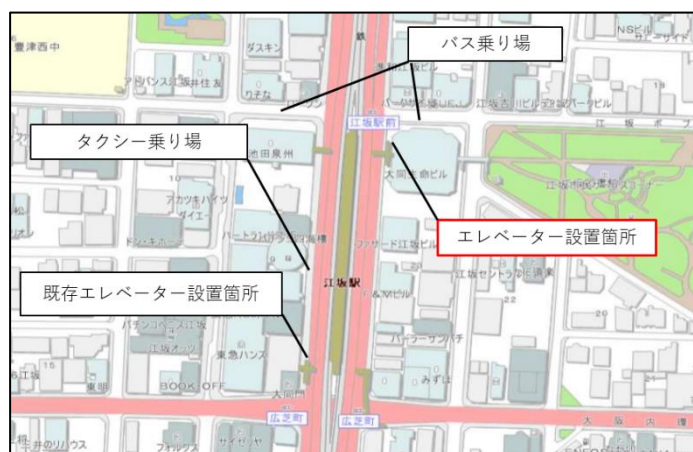
JR 岸辺駅自転車駐車場整備予定地

* 江坂駅エレベーター設置工事

鉄道駅におけるバリアフリールート確保、最短化、複数化のためのエレベーター設置等により、バス停留所及びタクシー乗降場までの相互の乗換え動線の更なるバリアフリー化を推進する。

令和5年度：地上施設等処理を実施。

令和6年度予定：エレベーター設置（令和6年度末供用開始予定）



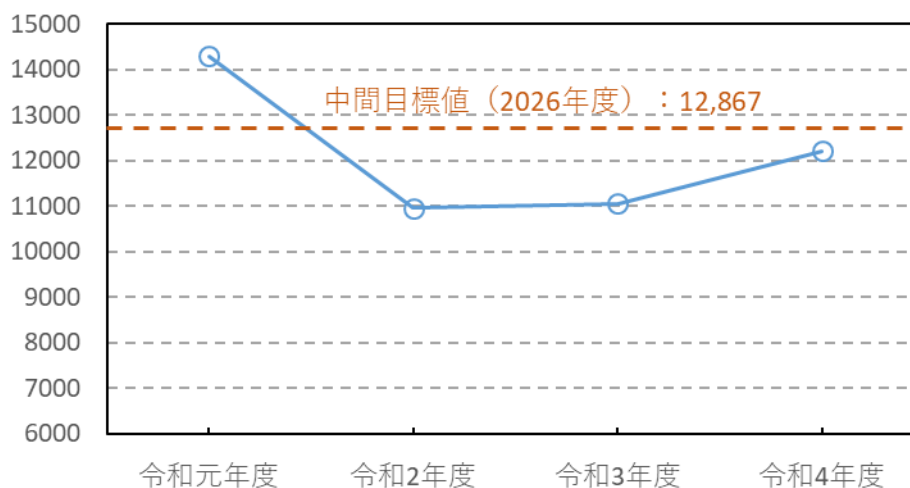
江坂エレベーター設置箇所

○市内公共交通利用者の推移

市内公共交通利用者の推移は以下のとおり。

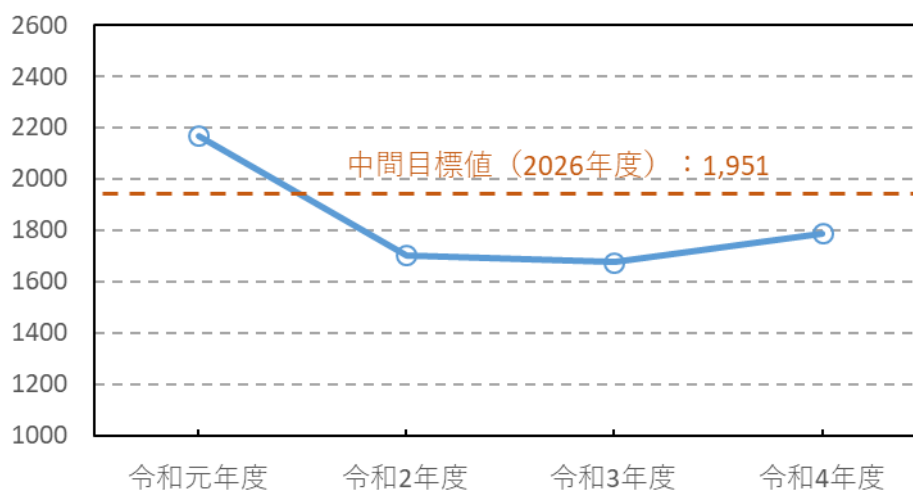
市内鉄道利用者数（万人）				
現況値 2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度) (速報値)	中間目標値 2026年度 (令和8年度)
14,297	10,961	11,051	12,213	12,867

市内鉄道利用者数（万人）



市内バス利用者数（万人）				
現況値 2019年度 （令和元年度）	2020年度 （令和2年度）	2021年度 （令和3年度）	2022年度 （令和4年度） （速報値）	中間目標値 2026年度 （令和8年度）
2,168	1,702	1,675	1,789	1,951

市内バス利用者数（万人）



上記のとおり、令和4年度においては、市内鉄道利用者数及び市内バス利用者数は回復傾向となっている。この要因としては、令和4年度はコロナ禍ではあるものの、令和2年度、3年度に実施されていた緊急事態宣言はなく、人流も回復傾向にあるためと考えられる。今後もこの傾向は続くと想定されるため、引き続き状況を注視していく。